

菩提樹

35

2003/8/24
津島市神明町2
元神宮寺宝寿院
0567・25・4154

施餓鬼会

ぼだい樹 前号 抜粹

いまより二千年以上も前のお話です。

お釈迦様のお弟子の目連様が亡くなったお母さんの今を知りたくて 瞑想して居ました。極楽を見ても見当たりません。地獄を見ると、餓鬼となって やせ衰えた母が、食事をしたくても目前で火となったり、水も喉をとおりぬほど細くなっています。目蓮様は悲しくなりました。あんなに自分を慈しみ育ててくれた母が どうして苦しむのだろう。

目連さまは 悩んだ末に「お釈迦様 どうしたら母を救う事が 出来るのでしょうか」

「お前の母は 自分の子供の事ばかり思うあまり 他の子供を傷つけたり お前が欲しがれば たった一つの物でも盗ってきて お前に与えていた。その為に地獄に落ちてしまったのだ。今からでも遅くない。修行

の開けた僧侶を沢山集めて、施餓鬼の法を勤めなさい」と教えて下さいました。私達は知らない内に 他人を傷付けたり 私利私欲に走っています。

お施餓鬼を勤める時 我々は戦争の犠牲となつて なくなつた人々の為に、又憎みあつた人々の為に、真剣に祈ります。

そろそろ自分の為だけ、金銭欲の為だけに生きるのをやめましょう。其処から生み出されるものなど何も有りません。損得のみを追求して、日本人は自然を壊し、肉体を壊し、心を壊してしまいました。

本当の**幸福・いきがい**について 御家庭の中で話し合つて下さい。「ご苦労さま」と声をかけてもらった 配達のおじさん達の嬉しそうな顔、笑顔にあえて一日幸福です。

秋の宝寿院行事

九月二十二日 2時 永代経

九月一・八日 時 薬師ごま祈禱

毎月一・八・十五日 薬師ごま祈禱

毎月二十四日 時 水子地藏供養

家相・運勢・命名 予約

電話 0567・25・4154

水琴窟すいきんくつ「あんない

平成十五年四月完成しました。

龍神さまへお参りする前に、手を清めます。水漱の水をひしゃくで汲み、手洗します。下に落ちた水が地中の水瓶に滴り落ちて、不思議な幽玄の水音を聞かせてくれます。水琴窟つてなあに。とさがしても発見できなくて帰る人が 沢山居ます。よくみてね。話を聞くだけでは駄目。体験して下さい。水音が良く聞こえる様に作られています。手洗いしながら、いやされてください。その後の大木は イスの木です。幹の途中で又一本の木となっている

夫婦和合の 双連の木です。自然は何と不思議な事でしょう。

水漱は文政年間
寄進された水鉢

